

2023年5月号

市政
報告完全無所属
柏市議会議員・社会保険労務士
北村かずゆきこの柏に
確かな未来を!

こんにちは。
コロナウイルスも一定の落ち着きを見せ、今後、社会経済活動や文化活動、皆様の生活が益々充実していくことを願っています。

一方で、引き続き基礎疾患をお持ちの方やご年配の方などはご自身を守りつつ、コロナ前の生活を少しでも取り戻せれば幸いです。

この度、柏市議会議員選挙の日程が7/30告示、8/6投票日と決定しました。

私は自身の未熟さを実感しながらも、無所属・無派閥の立場で活動し、市議や社労士、大学院で学ぶなど日々悪戦苦闘しております。

今後も「人と命に向き合う」政治信念で、柏市や人の役に立つためどうすべきかの視点で一生懸命取り組んでいく決意です。

下記、表面に市政情報、裏面に私の取り組みの一部ですが報告書を作成しましたのでご覧頂ければ幸いです。

北村 和之

一般会計予算 1,499 億円

3月議会で今年度予算が成立しました。

市民の大切な税金を多分に含む1,499億円の中で柏市は多くのサービスを行い、それを適切にチェック・提案することが議会や議員の第一義的な仕事です。

また、市民の皆様には4年に1度の選挙を通じて、議員をチェックして頂きたいと考えます。

太田市長の予算編成基本方針では下記7分野に重点が置かれました。

- ①子育てしやすいまち柏
- ②誰もがいきいきと学べる環境の構築
- ③健康寿命延伸に向けた予防・健康づくり
- ④交流人口拡大に向けてまちの魅力向上
- ⑤創業支援による地域活力の向上
- ⑥温室効果ガス排出ゼロに向けた脱炭素地域づくり
- ⑦自治体DX（デジタル技術を活用し市民生活向上へ）

柏市歳入の約48%は市税収入で歳入の根幹でもあり、とりわけ個人住民税は市税収入全体の約43%を占めるため、柏市に住んでもらうため、魅力や特色あるまちづくりが重要と考えます。

引き続き柏市をチェックし積極的に提案します。

中学校体育館 エアコン設置へ

近年の猛暑を受け、小中学校普通教室のエアコン設置は完了の一方、体育館への設置が課題となっており、この度、子どもの健康や教育環境の向上、災害時の避難所機能の強化として、市内全21校の中学校体育館へ空調設備の設置を決めました。

今後、小学校も検討される方向で、私も設置を目指し取り組んでまいります。

子ども・子育て支援複合施設開設

私は子どもや若者支援を自治体が大胆に推進することは人口減少や少子高齢化、今後の社会の担い手を考えるうえで重要と考えます。

この度、柏市は子どもが成長に合わせ利用できる拠点を柏駅（旧そごう柏アネックス館）に開設します。

機能として、送迎保育ステーションや子どもの図書スペースを含めた遊びの広場、中高生世代の居場所、一時預かり、妊娠子育て相談センターがあり、令和5年度は先行して送迎保育ステーションを開設予定です。

今後、人口減少社会を迎えるなか、高齢者対策に加え、少子化対策や若者支援も必要と考えます。

どのようなまちづくりや自治体像を描いていくべきか、皆様いかがお考えでしょうか。

コロナ感染症 5類移行へ

5/8から感染症法の位置付けが「5類感染症」に変更されました。

今後の医療提供体制は基本的に季節性インフルエンザ感染症と同様となり、感染防止対策は個人や事業者の自主的な判断・取組みとなります。

心配や症状などがある際は下記へご相談ください。

●柏市新型コロナウイルス感染症相談センター

TEL 050-5527-6942（午前9時～午後5時）

●千葉県新型コロナウイルス感染症相談センター

TEL 0570-200-139 24時間（土日祝日含む）

3月議会質問内容

- ①アピアランスケア、がん患者ウィッグ補助
- ②AED 屋外ボックス設置箇所
- ③シニアカー

- ④所有者不明土地、空き地
- ⑤園庭、校庭、グラウンド芝生化
- ⑥まちづくり推進のための調査、市民参加
- ⑦一時保育
- ⑧道路、公園等通報システム
- ⑨総合計画



広報かしわ全戸配布 実現！

広報かしわが 5/1 号から全世帯（約 195,000 世帯）に月に 1 回、冊子で届くことになりました。

これまでは新聞購読世帯への折込みで、世帯の 5～6 割にしか届かない現状に問題意識があり、議論を重ねてきました。

何故私が広報かしわ全戸配布にこだわるかと言うと、行政や公務員は市民に対して常に「公平」であって欲しいということが理由のひとつです。

防災や福祉、子育て、コロナ情報などは一部の市民へ届けば良い性質の情報ではなく、ホームページの片隅に載せていても、情報を取りに来る市民は多くありません。

また、地方自治法 10 条には、「住民は、その属する普通地方公共団体の役務（サービス）の提供をひとしく受ける権利を有する」と規定され、行政には責任が、市民には権利があります。

私は「伝える政治・伝える行政」を進めることは市民の利益になると考えています。

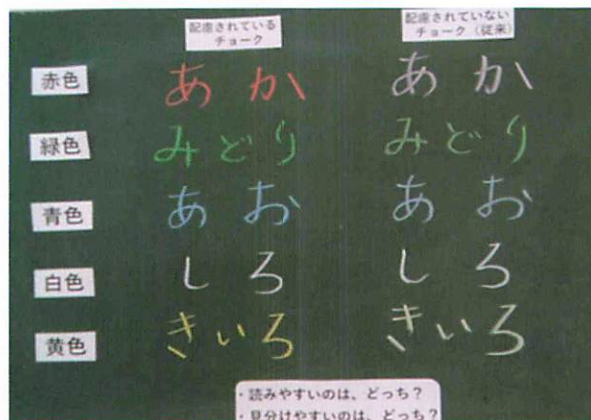
一方、市長部局から独立している選挙管理委員会の「選挙公報」や、議会発行の「議会だより」を全戸配布しないことは大問題であり、それを望まない勢力が議会に存在しています。（選挙公報は法律で、議会だよりは議会広報規定で全戸配布の定めが存在）

今後、全戸配布を求めてまいります。



色覚チョーク 導入実現！

色覚異常は男子の 5%、女子の 0.2% 全国で 300 万人以上おり、私は学校のチョークを色覚に配慮されたチョークとすることを提案し、現在は全小中学校、市立柏高校で色覚チョークが採用されました。



AED 屋外ボックス 実現！

市内、約 250 の公共施設 AED は屋内にあり、閉館中や深夜は使用できない状況に問題意識がありました。この度、全小中学校、市立柏高校、中央公民館、市民文化会館、ほのぼのプラザ増尾、道の駅しょうなん等に屋外ボックスが設置され、また、今後は近隣センターや大規模公園などへ設置する方向性が示され、24 時間 365 日市民の命を救える AED 体制となったことは涙がでるほど嬉しかったです。今後は AED の使い方を含む救命講習の周知・拡充や市民救命力向上に取り組みます。



AED 屋外ボックス



マニフェスト大賞 最優秀賞受賞！

生活保護申請を妨げる要因となっていた「扶養照会」。令和 3 年に厚労省は「扶養が期待できない場合には照会する必要が無い」と自治体へ通達しました。

私は超党派地方議員や福祉団体とともに各自治体の「生活保護のしおり」の現状を調査し、1 都 3 県 157 自治体のうち、9 割超で扶養照会不要のケース（DV や虐待など）の未記載が判明し、記者会見やメディアを通して発信した結果、社会を動かす取組みが評価され、2022 年度のマニフェスト大賞最優秀賞の受賞をしました。

（日本最大の政策コンテスト、応募総数 3133 件中、最優秀賞 7 名）

また、柏市の生活保護のしおりの書き方も議会で取り上げ改訂に繋がりました。



あとがき

政治家系でもなく、地元の名士でもなく、政党に入らず、資金もない私を 33 歳で議会に送り出して頂き 2 期 8 年を迎える。

人前が苦手で自分に自信がある訳でもない、そんな私が 23 歳の時に父を肺がんで失い、少しでも人の役に立ちたいと心から思った。その間、どれほど人の期待に応え、役に立てているかは分からない。それでも今後も社会に貢献したいという気持ちは強く持っています。

世の中必ずしも平等ではなく、国籍、性別、世代間、環境、教育、所得、情報、地域等、不平等や不条理は存在しています。

議会でも政務活動費額や議会だより文字数なども会派に所属が否かで異なる不条理がある。

私は世の中に不平等があっても、そこに「公正さ」を求めていきたい。それが政治家や公務員にまず必要な姿勢ではないだろうか。政治家の前に人として信頼されるように頑張ります。



北村
かずゆき
連絡先

〒277-0054
千葉県柏市南増尾 2-8-27
TEL 090-7414-4205
MAIL k.kitamura1981@gmail.com

北村
かずゆき
プロフィール

1981年 9月16日生まれ
1994年 酒井根小学校 卒業
1997年 酒井根中学校 卒業
2000年 東洋大学付属牛久高校 卒業
2003年 拓殖短期大学経営科 卒業
2006年 社会保険労務士試験合格
社労士事務所に勤務

2010年 参議院議員 秘書
～2014年
2015年 柏市議会議員選挙 初当選
2019年 柏市議会議員選挙 2期目当選
【現在】 明治大学公共政策大学院 在学中
社会保険労務士としても活動中
【趣味】 登山、読書、マラソン